

# 資料 8 - 1

## 第 7 回府中市総合計画審議会会議録（要旨）

- 開催日時 令和 7 年 6 月 2 6 日（木）午後 3 時 3 0 分～午後 4 時 3 0 分
- 開催場所 府中市役所おもや 4 階 第 1 特別会議室
- 出席委員 2 5 名（五十音順）  
青山 亨委員、秋池 潔委員、秋山賢太郎委員、市川耕作委員、小野寺 淳委員、金子 憲副会長、菊地端夫委員、小山有彦委員、志水清隆委員、竹内祐子委員、田中亜衣子委員、長崎益治委員、中島正裕会長、中村洋子委員、西村 陸委員、林 宏信委員、藤野暢幸委員、前川浩子委員、峯 佳毅委員、宮田よしひと委員、谷田部知津子委員、山本真実委員、吉垣親伸委員、渡辺しょう委員、渡辺浩章委員
- 欠席委員 5 名  
秋山としゆき委員、北島章雄委員、古森寛樹委員、田中勝彦委員、山口真佐子委員
- 出席説明員等  
志摩政策経営部長、石堂政策経営部行政改革担当副参事兼行政経営課長、目黒政策課長、南學政策課長補佐兼総合計画担当副主幹、大木行政経営課長補佐、野間政策課主査、瀬野政策課主査、橋本行政経営課主査、岡田政策課主任、三菱UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社土方氏
- 傍聴者 なし
- 議事内容
  - 1 開会
  - 2 確認事項
    - (1) 第 6 回府中市総合計画審議会会議録（要旨）について
    - (2) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案修正案（基本目標 3・4）について
  - 3 審議事項
    - (1) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案修正案（行財政運営）について
    - (2) 重点プロジェクト構成修正案及び素案について
    - (3) 序論修正案について
    - (4) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画答申案について
  - 4 その他

## 資料 8 - 1

### ■会議録（要旨）

○中島会長 ただいまから、第7回府中市総合計画審議会を始めます。事務局は委員の出席状況を報告してください。

○事務局 出席状況を報告します。また、伊藤委員に代わり、北島委員が選出されましたので報告します。

（出席状況及び会議有効成立の報告）

○中島会長 次に、事務局は本日の傍聴希望の状況を報告してください。

○事務局 本日の傍聴希望はございませんでした。

○中島会長 次に、本日の配付資料について事務局から説明してください。

○事務局 本日の資料は、事前に郵送した7点と、本日机上で配付した4点です。

（配付資料の確認）

### 確認・審議事項

○中島会長 次第2（1）「第6回府中市総合計画審議会議事録（要旨）（案）」について、期日までに事務局に修正等の連絡はありましたか。

○事務局 期日までに修正等の連絡はございませんでした。

○中島会長 修正や意見がある方はいませんか。特になければ、第6回審議会会議録及び資料を確定します。事務局は速やかに公開の手続きをしてください。

次に、次第2（2）第7次府中市総合計画後期基本計画素案修正案（基本目標3・4）についての報告に進みます。事務局は資料の説明をしてください。

○事務局 （配付資料7-2に基づき説明）

○中島会長 起草委員会での度重なる審議を尊重し、基本的には資料のとおりとしたいと思います。何か意見はありますか。

なければ、次第3審議事項に進みます。それでは、本日審議を行う素案について、起草委員長である金子副会長より報告をお願いします。

## 資料 8 - 1

○金子副会長 本日提出した素案は、審議会委員から頂いた意見を踏まえ、起草委員会で審議を行った結果を反映しています。ご審議をよろしくお願いします。

○中島会長 審議に当たり、資料や考え方を共有するため事務局より説明してください。

○事務局 (配付資料 7-2 から 7-4 に基づき説明)

○中島会長 それでは、次第 3 (1) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案修正案(行財政運営)の審議に入ります。何かご意見や確認事項はありますか。

○前川委員 資料について、水色マーカーに赤字、緑マーカーに赤字の部分があるが、赤緑の見分けが難しい人もいますので、留意の上、誰もが見やすい資料にしてほしい。

施策 101 について、施策の方向性に「市民協働のまちづくりに取り組んでもらえるように」とあるが、「もらえるように」という表現に違和感がある。

施策 106 について、現状と課題では「情報資産が漏洩しないよう万全を期す必要がある」、主要な取組では「あらゆる脅威に対応可能なセキュリティ対策」とあり、異なった表現をしている。どちらも「漏洩しないように」という強い表現にすべきではないか。

施策 107 について、現状と課題に記載の公共施設の現状が令和 2 年度の数値を用いて古い情報ではないかと思う。

○事務局 施策 101 について、市民協働は、市も含めた多様な主体が対等な立場で進めるものであり、ご指摘の通り表現がそぐわないため担当課と調整します。

施策 106 について、情報漏洩があってはならないという市の姿勢をしっかりと示せるように文言の調整を検討します。

施策 107 について、公式な数値を用いるため、令和 4 年 1 月改定の府中市公共施設マネジメント基本方針を引用しています。この作成時点である令和 3 年度当時は、令和 2 年度の数値が最新であり、ご理解いただければと思います。

○中島会長 色合いの関係で資料が見つらい委員がいましたら、事務局は別途対応してください。その他にありますか。

○小山委員 前回の審議会で、歳入確保の取組が大変重要な点だと申しあげた。施策 108 の修正内容については、本来もっと積極的で具体的な表現があっても良いと思うが、各種施策で取り組む旨があるので、この部分に期待して承知したいと思う。今後、人口動態や人口構造が大きく変わっていく中で、府中市がどういう形で持続可能性を確か

## 資料 8 - 1

り生み出ししていくかは極めて重要だと思うので、そうした意味で、財政基盤をなす歳入の取組を、この新たな取組の中で検討してほしいと改めて申しあげる。

○秋池委員 人口減少やそれに伴う歳入減少の流れは分かるが、他自治体では、流入してくる市民を増やす施策を実施しているところもある。自然減が見込まれる中で、市では、人口を増やし、収入を増やす取組をどのように考え、具体的にどのように総合計画に盛り込んでいるか。

○事務局 いわゆる社会増の取組について、現状では転入や移住定住に伴う補助等の優遇策は実施していません。また、市中心部への人口の偏りや、これに伴う学校等の社会インフラの偏在等が喫緊の課題である中、令和 11 年度までの 4 年間の後期基本計画期間においては、社会増の取組として具体的に示しているものではありません。

一方で、他自治体にあるような人口減少の将来に備えた施策は、本市としても考えていく必要があると認識しています。

○中島会長 その他に何かありますか。なければ、次第 3 (2) 重点プロジェクト構成修正案及び素案についての審議に進みます。事務局は資料の説明をしてください。

○事務局 (資料 7 - 2、資料 7 - 3、資料 7 - 5、資料 7 - 7 に基づき説明)

○中島会長 まず、資料 7 - 5 を中心として、構成の修正について意見がある人はいますか。

○秋池委員 資料 7 - 5 の 4 ページについて、項目名が修正されていないのはなぜか。

○事務局 ご指摘のページは現行計画の重点プロジェクト一覧であることから、後期基本計画に合わせた表記とはしていません。

○中島会長 他にありますか。なければ、次に、資料 7 - 7 を中心として、重点プロジェクトの本文について意見がある人はいますか。

○秋池委員 資料 7 - 5 の 1 ページ目は「子どもや若者の居場所づくり」となっているが、同資料 3 ページ・5 ページ、資料 7 - 7 では「子どもの居場所づくり」となっている。

○事務局 資料の齟齬があり失礼しました。「子どもの居場所づくり」が最新の案です。

## 資料 8 - 1

当初は若者を含めた名称を検討しましたが、今年度より試行開始した中高生世代を対象とする居場所づくり事業を踏まえ、表現を整理し、「子どもの居場所づくり」としました。

○**青山委員** 資料 7 - 7 の 38 ページ、方針 2、取組 1 の本文第 2 段落目、施設の整備と思われるが、何を整備するかしっかり伝わる表現にした方が良い。

○**竹内委員** 同じく 39 ページ、方針 3、取組 1 では、保護者や地域住民だけでなく、子ども自身の意見も必要だと思うので、本文に盛り込めると良い。

○**事務局** 学校の適正規模・適正配置の取組には様々な方が関わる中で、当事者である子どもの意見も重要な要素だと考えています。施策における表現に合わせて「等」とするなど、表現を検討します。

○**青山委員** 「子ども」の表記について、「こども家庭センター事業」は平仮名のままであるが、これから修正されるか。

○**事務局** 「こども家庭センター」は国が用いる用語であり、平仮名での表記を継続する考えです。

なお、本市において「こども家庭センター」に位置付けられる「子ども家庭支援センター」については、漢字が含まれます。

○**前川委員** 同じく 33 ページ、35 ページについて、前者では「居場所が限定されやすい子どもが過ごしやすい環境の整備」、後者では「学校や家庭以外の『第 3 の居場所』として、子どもが安心して過ごすことができる居場所づくり」と記載されているが、似た内容を言い換えている理由は何か。

○**事務局** 前者では広く表現しており、後者では具体性のある表記としています。

○**中島会長** 前者は全体のリード文であることから、矛盾や重複ではなく、後者を包括的に示す対応関係があるということですか。

○**事務局** 中島会長のご発言のとおりです。

○**秋池委員** 同じく 35 ページ、文頭に「小中学校では」とあるが、中高生に対する具体的な取組はあるか。

## 資料 8 - 1

○事務局 中高生の放課後の居場所づくりとして、文化センターの会議室を利用した事業を試行的に開始し、ニーズやどのような整備が必要かを検証しています。

○中島会長 他に意見等がありますか。なければ、次第3（4）序論修正案の審議に進みます。事務局は資料の説明をしてください。

○事務局 （資料7-2, 7-3, 7-6に基づき説明）

○中島会長 順不同で構いませんので、意見や確認事項がある方はいらっしゃいますか。

○青山委員 全体的に表現が分かりやすくなったと思う。

資料7-6の10ページ、死亡数は令和4年度がピークであり、令和5年度には減っている。全国的には令和5年度の方が死亡数が多いところ、府中市では下がっている要因は何か。また、こうした変動について文章で触れられていないことに違和感がある。

○事務局 確認のうえ、特徴的なものがあれば改めてご説明します。

○青山委員 総合計画に大きな影響があるとは思わないが、数値が気になるので可能であれば確認してほしい。

○中島会長 人口についての項目は、本文に「本市の」と入れると内容が明確になり読みやすくなると思う。

グラフタイトルにダイヤモンドが付いているが、系列のマークと似ていて紛らわしいので、特別な意味がないのであれば外しても良いのではないかと。

○前川委員 同じく12ページ、社会増減の動向について、本文が分かりづらい。どのような内容として読めば良いか。

○事務局 下のグラフと合わせた表記となっており、「○才→○才」の矢印前の年代の人口が、5年後に矢印後の年代となった時の増減を示すものです。

○中島会長 下のグラフと合わせ、矢印の前後に、それぞれ何年時点の年齢かがあると読み手に取って分かりやすくあるのではないかと。

○事務局 分かりやすい表記となるよう調整します。

## 資料 8 - 1

○市川委員 人口には外国人住民も含まれているか。また、比率や動向を示しているか。

○事務局 人口推計には最新の住民基本台帳を用いているため、外国人住民も含まれます。ただし、平成24年以前は住民基本台帳とは別に外国人登録制度があったことから、外国人住民を含んでいないデータもあり、この場合は但し書きをしています。また、比率等について記載はありません。

○長崎委員 同じく7ページ、色合いの関係で潰れてしまっているが、「等」は削除か。

8ページ、「DXの進展への対応」と修正されたが、自らやらないと変わっていかないものであるところ、末尾を「への対応」とすることで受け身や後ろ向きな印象に感じた。状況の説明として用いたものと思うが、「DXの推進状況」といった表現でも良いのではないか。また、7ページに記載がある防災DXを加えても良いのではないか。

○事務局 7ページの「等」は、すぐ次に「など」が続くため重複しないよう削除しました。

8ページの「DXの進展への対応」について、どのように市民サービスに繋げていくかという視点から、受け身ではない姿勢をしっかりと伝えられるように改めて表現を整理します。

○山本委員 同じく7ページでは、災害対策の取組が具体的に様々列挙されているが、食料備蓄についても入れるべきではないか。

○事務局 本項目では、本市に限らない全体的な視点で取りまとめている点も踏まえ、改めて整理します。

○中島会長 他に意見等がありますか。なければ、次第3(5)答申案の審議に進みます。事務局は資料の説明をしてください。

○事務局 (資料7-7に基づき説明)

○中島会長 審議会後に委員の皆さまからの意見の受付期間を設けるということですが、この場で何かありますか。

○藤野委員 資料7-6の7ページ、最終行では「強く」とあるが、資料7-7の9ページでは当該部分が抜けている。どちらが正しいか。

## 資料 8 - 1

○事務局 資料の齟齬があり失礼しました。資料 7 - 6 で「強く」の見え消し漏れです。資料 7 - 7 を最終案としてご確認ください。

○青山委員 資料 7 - 7 の 9 ページ、「価値観の多様化・共生社会の実現」に関する内容だが、市内の外国人住民数を記載する必要があると思う。施策 3 7 の現状と課題でも市内の外国人住民数が増加しているとあるが、具体的な数値がない。子どもや高齢者、男女の区分では具体的な数値を示しているの、外国人住民についても同様に入れた方が良い。

同じく 1 0 9 ページ、施策 1 0 1 では市民活動センターの記載があるが、「プラッツ」の方が耳なじみがあり知られていると思うので、記載があると良い。

用語集などの巻末資料が付いていないが、今後答申案に追加されるか。

○事務局 外国人住民の人口とプラッツの記載について、調整します。

巻末資料は答申書に含まず、今後の策定過程でまとめていきます。

○中島会長 社会潮流と課題は全体的な視点でまとめていることから、市の外国人住民数については、適切な記載箇所も含めて検討してください。

○前川委員 同じく 5 5 ページ、指標名「ヤングケアラーから早期に意見徴収した割合」とは何を指すか。

7 1 ページ、主要な取組「地域生活支援拠点等運営事業」の説明で「面的整備型の地域生活支援拠点等」とあるが、この表現でどのくらいの市民に伝わるか疑問である。

1 1 2 ページ、段ボールベッドは後期高齢者だけでなく障害者にとっても必要であり、表現やデータのとり方が不明である。

1 0 4 ページの粗大ごみ排出量、1 8 2 ページの雨水浸透ます新規設置個数の指標では、目標値が基準値以上となっているが、目標値の表し方として不適切であると思う。

○青山委員 同じく 1 1 2 ページ、段ボールベッドの指標について、令和 6 年能登半島地震の際、高齢者に限らず誰にとっても床に直接寝るのは大きな課題となっていた。後期高齢者のみに段ボールベッドが充足すれば良いという指標の立て方は世間の考え方とずれていると思う。

○事務局 施策の内容に関するご意見は、これから設けるご意見の受付期間の分も含めて検討し、答申書としてのまとめ方を整理します。

## 資料 8 - 1

○中島会長 次第 4 その他について、委員の皆さまから何かありますか。なければ、事務局からありますか。

○事務局 事務局から 3 点お知らせします。  
(意見等の受付・反映について、次回審議会について、委員報酬について)

○中島会長 本日は以上で散会とします。皆さまありがとうございました。

以上